

理科部門

文部大臣奨励賞

「植物は動いているぞ!」

福島県郡山市立大成小学校

四年 仲村 理



アサガオ、ヒマワリ、ヘチマ、インゲン、マツバギク、カタバミ、オジギソウ、オキザリソウ、トケイソウと、九種類の植物の花びらや葉などの動きを観察、考察しています。光、温度、時刻による運動、体をささえる運動がまとめられ、生きて動いている植物の知恵や自然のしくみに対しての感動が作品にあらわれています。



☆ 今年、全体的に長期的な期間にわたる根強い観察記録が多く寄せられ、みなさんの健闘ぶりが伝わる力作が目を引きました。研究は、予想をした後、自分の手足を使って事実をとらえ、考察するプロセスが大切です。次回もすばらしい研究作品を期待しています。

☆ 総評 ☆

植物の三年間にわたる観察を記録した力作です。観察した植物の素材も豊富で、九種類の植物でデータをとるなど、意欲的な研究が高く評価されました。研究のテーマ設定、観察の方法も見事で予想を立ててから調べ、記録をする研究の仕方や、記録や結果についての考え方が適切にまとめられています。また、内容を分析して考察する姿勢も、たいへん優れている作品です。

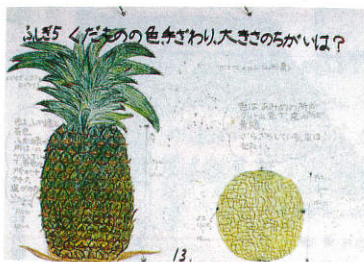
優秀賞

「使い捨てカイロの研究」
岐阜県柳津町立柳津小五年
坂井田孝之

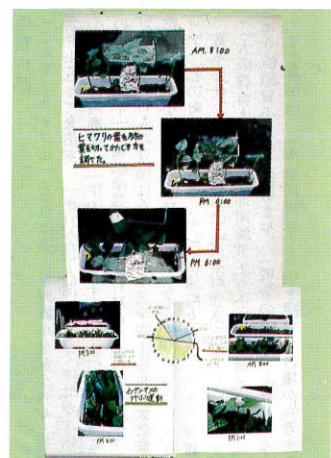


「使い捨てカイロ」のしくみに関心をもち、カイロの中身の物質の役割を実験によって解明していった作品です。問題を解決するために実験のみでなく、会社資料を要求するという生きた力も発揮しています。

「くだものあまさは」
神奈川県茅ヶ崎市立東海岸小
四年 石黒秋江



同じくだものなのに、あまいところとあまさないところがあるのはどうしてなのか、毎日の生活の中でも自分が不思議に思っていたことを工夫をこらして調べたユニークな研究です。



「植物はみんな生きている」
福島県郡山市立大成小六年
仲村 淳

それぞれが生きるための工夫をしている植物について「体のつくり」「発芽の条件」「くきと芽の役目」など、過去の研究を基にさらに自分の研究を深めた秀作です。内容、研究の進め方、まとめが適切で、長期にわたる継続研究の成果も評価されました。

その他の受賞作品

◆ 優良賞 「ハトの研究」(東京都白百合学園小三年) 中井咲希 「この水とうであつて夏をのりきるぞ」(岐阜県瑞浪市立瑞浪小三年) 村井康治 「太陽のふしぎ大発見」(岐阜県柳津町立柳津小四年) 後藤綾乃 「輪郭の強さの研究」(福井県清水町立清水南小五年) 玉井有希恵 「自宅周辺のクモとその網の特徴」(神奈川県茅ヶ崎市立柳津小三年) 安武愛子

◆ 佳作 「キアゲハの観察」(福島県只見町立只見小三年) 田中麻衣子 「にじの研究」(岐阜県各務原市立藤原第一小三年) 市村安敏 「夏休みのチャンボンししょう台」(長崎県諫早市立真崎小三年) 三浦成大 「地震の研究」(岐阜県柳津町立柳津小四年) 奥村伊代 「二輪車はなぜ進むか」(愛知県愛知教育大学附属岡崎小四年) 中村めぐみ 「りんごの日焼け」(岐阜県瑞浪市立瑞浪小五年) 小島あさみ 「りんごの变色防止対策研究所」(岐阜県瑞浪市立瑞浪小六年) 村井健治 「ミミズの集団自殺の謎」(神奈川県茅ヶ崎市立浜須賀中一年) 守屋昂 「久瀬の自然環境探求」95 (岐阜県久瀬村立久瀬中一年) 増元大輔 橋本祥太 「口臭剤と虫歯の気になる話」(茨城県つくば市立並木中一年) 二木良崇 広津敏尚 鈴木俊治 「材料の強度」(愛知県教育大学附属岡崎中三年) 舟橋仁